



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-58

(2025. 8. 25)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

研究員 森川 友理

03-5202-7671

s1000790@facetoface.ne.jp

中兵庫信用金庫の「通信制大学卒業資格取得助成制度」

ポイント

- 兵庫県丹波市に本店を置く中兵庫信用金庫は、通信制大学卒業資格取得助成制度「なかしんアカデミー」を2023年度に開校した。
- 同制度は、高卒で入庫した職員を対象に通信制大学の学費を同金庫が全額負担するもので、職員のモチベーションや業務遂行能力の向上といった人財育成を目的とする。
- 同制度の利用を希望する職員には面接を経て助成の可否を決定する。対象大学および学部は、信用金庫業務に関連する学部であれば特段の制限を設けていない。
- 同制度の導入には地元から大きな反響があり、採用活動にプラスに作用しているほか、地域における同金庫の魅力度向上にもつながっている。

1. なかしんアカデミーの開校

(1) 制度導入の経緯

兵庫県丹波市に本店を置く中兵庫信用金庫（図表1）は、通信制大学の卒業資格取得を助成する独自制度の「なかしんアカデミー」を2023年度から開校している。

同金庫は高卒者の採用に前向きである。一方で高卒職員の中には家庭の事情などで大学に進学しなかった（就職を選択した）ケースもあり、こうした職員に学び直しを提供したいと考えた。そこで同金庫は同制度を立ち上げ、高卒職員の通信制大学進学を後押しすることにした。

（図表1）中兵庫信用金庫の概要（24年度末）

本店所在地	兵庫県丹波市
創 立	1969（昭和44）年10月1日
預 金 残 高	5,513 億円
貸 出 金 残 高	1,459 億円
店 舗 数	29 店舗
役 職 員 数	256 人

（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(2) 目的

同制度の導入目的の第一は、向学心のある職員の学び直しを費用面からサポートすることで、将来の金庫や地域を担う人財を育成することである。高卒職員の業務遂行能力の向上などが期待される。

同金庫による全面的なサポートにより、職員のモチベーションやエンゲージメントの向上を促すことも目的となる。

また、少子化と大学進学率の上昇により高卒採用が激化する近年、同制度は採用活動時のPRになり得ると考えられる。競合金融機関などに対する付加価値として高卒者に対する説明会などで案内している。

2. 制度の概要

同制度の概要は図表2のとおりである。対象となる職員は、高校卒業後、同金庫に入庫した正職員で、今後の活躍が期待される20代の後押しを想定する(30～40代の利用も可)。助成対象の定員などはなく、希望者は面接を受けて個別に決定する方式である。対象大学は同金庫が認めた大学および学部で、原則として、法学、経済学、経営学など、金庫業務に関連する学部であることが条件となる。

職員が通信制大学を受験する費用、入学金、授業料などを同金庫が助成する。ただし中途退学などを防ぐ目的で、各費用支払い時に同金庫が半額を助成し、大学卒業資格取得時に残りの半額を助成する形である。

(図表2) なかしんアカデミーの概要

対象職員	高校卒業後、同金庫に入庫した正職員（高卒採用者）
定 員	定員はなく、希望者は庫内面接を経て決定する。
対象大学	同金庫が認めた大学および学部とする。 ※制限はないものの、法学、経済学、経営学等、業務に関連する学部
助成内容	選考料、入学金、授業料・教材費、スクーリング受講料、その他同金庫が必要と認めた費用とする。 ※ただし上記費用にかかる振込手数料等および交通費は本人負担
助成期間	大学が定めた在学所要年数を上限とする。
そ の 他	中途退学等を防ぐため、各費用の支払い時に同金庫が半額を助成し、大学卒業資格取得時に残りの半額を助成する。

(備考) 取材内容をもとに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

3. 職員等への周知

高卒者の採用時に、通信制大学などに通いながら働きたい就職希望者に同制度を紹介している。また、同金庫の人事部門の職員が中心となって、入庫後の高卒職員に個別に同制度を案内し、利用を促している。加えて、庫内報に同制度を掲載するなど、幅広く役職員に同制度の周知を図っている。

4. 評価

同制度の導入は地元紙に掲載され、多くの取引先から賛辞の声が寄せられた。「知り合いの高校生に就職先として同金庫を紹介する」といった声もあるなど、採用活動にプラスに作用しているほか、地域における同金庫の魅力度向上にもつながっている。同金庫としては、将来の金庫や地域を担う人財を育てていくため、今後も同制度を積極的に案内していく考えである。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

関連レポートのご案内 金庫事例

このほかにも、
信用金庫経営に関する様々な情報を発信していますので、
当金庫 HP からご覧ください！

当研究所 HP トップ : <https://www.scbri.jp/>

関連レポートは
こちら



No.	発行日	タイトル
2024-92	2024/11/6	飯田信用金庫の伴走型事業承継支援についてー「事業承継・引継ぎ補助金 経営革新型」採択実績トップ信用金庫の取り組みー
2024-148	2025/2/21	しずおか焼津信用金庫の「DX トライアル制度」について
2024-168	2025/3/11	甲府信用金庫の「キッズフリマ」を通じた金融教育の実施
2024-180	2025/3/25	島田掛川信用金庫の高校生参加型アントレプレナーシップ研修
2025-22	2025/5/7	たちばな信用金庫のコラボン連携による取引先支援
2025-23	2025/5/7	たちばな信用金庫の諫早商業高等学校との連携策
2025-28	2025/6/6	しずおか焼津信用金庫の未来へつなぐ地場産業活性化策
2025-37	2025/7/9	諏訪信用金庫による「おてつたび」を活用した取引先の人手不足対応への貢献
2025-40	2025/7/25	玉島信用金庫の BtoC マッチングサービスによる終活支援